

# わが国レポ市場の最近の動向

2017年 3月 22日  
日本銀行金融市場局

# 目 次

---

## I. わが国のレポ市場

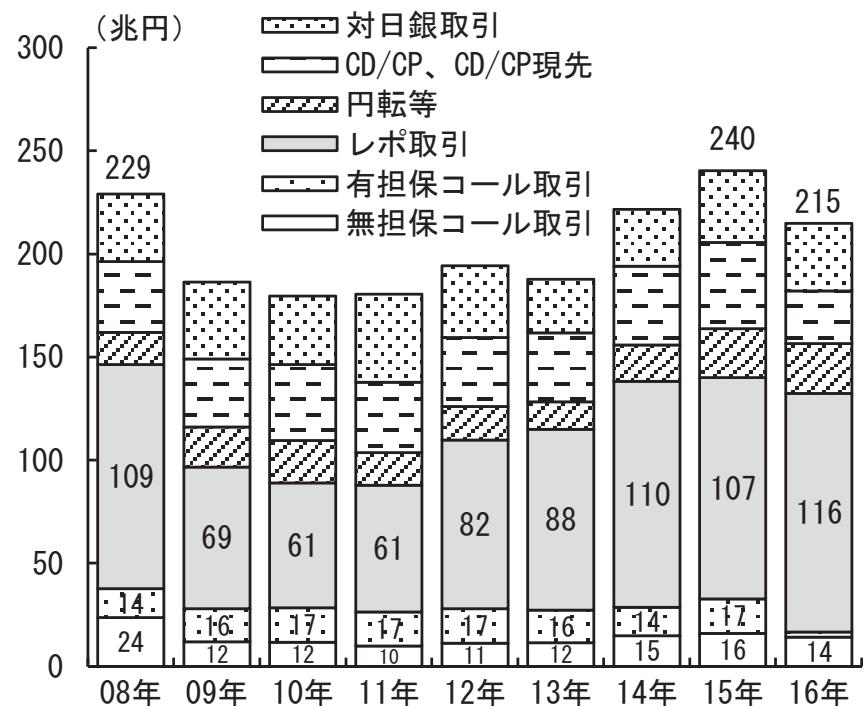
1. 短期金融市場の取引残高  
(参考) 債券レポ市場の足もとの動向
2. 債券レポ市場の動向
3. 債券レポ市場を巡るトピックス
4. 株レポ市場の動向
5. CP現先市場の取引高

## II. レポ市場の国際比較

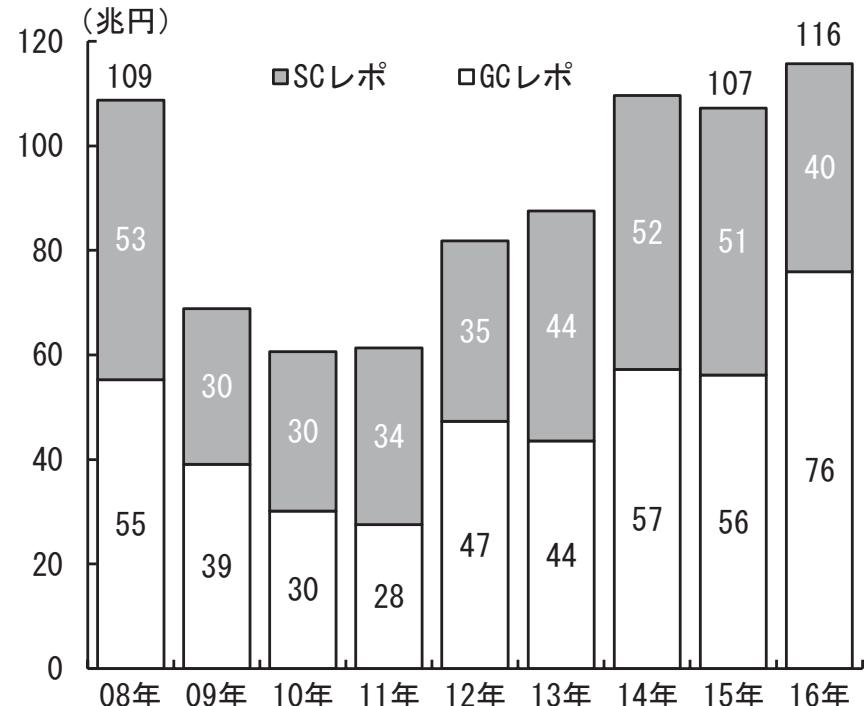
6. レポ市場における取引残高
7. 担保証券別残高シェア
8. 契約形態別残高シェア  
(参考) レポ市場の国際比較

# 1. 短期金融市場の取引残高

(短期金融市場の取引残高)



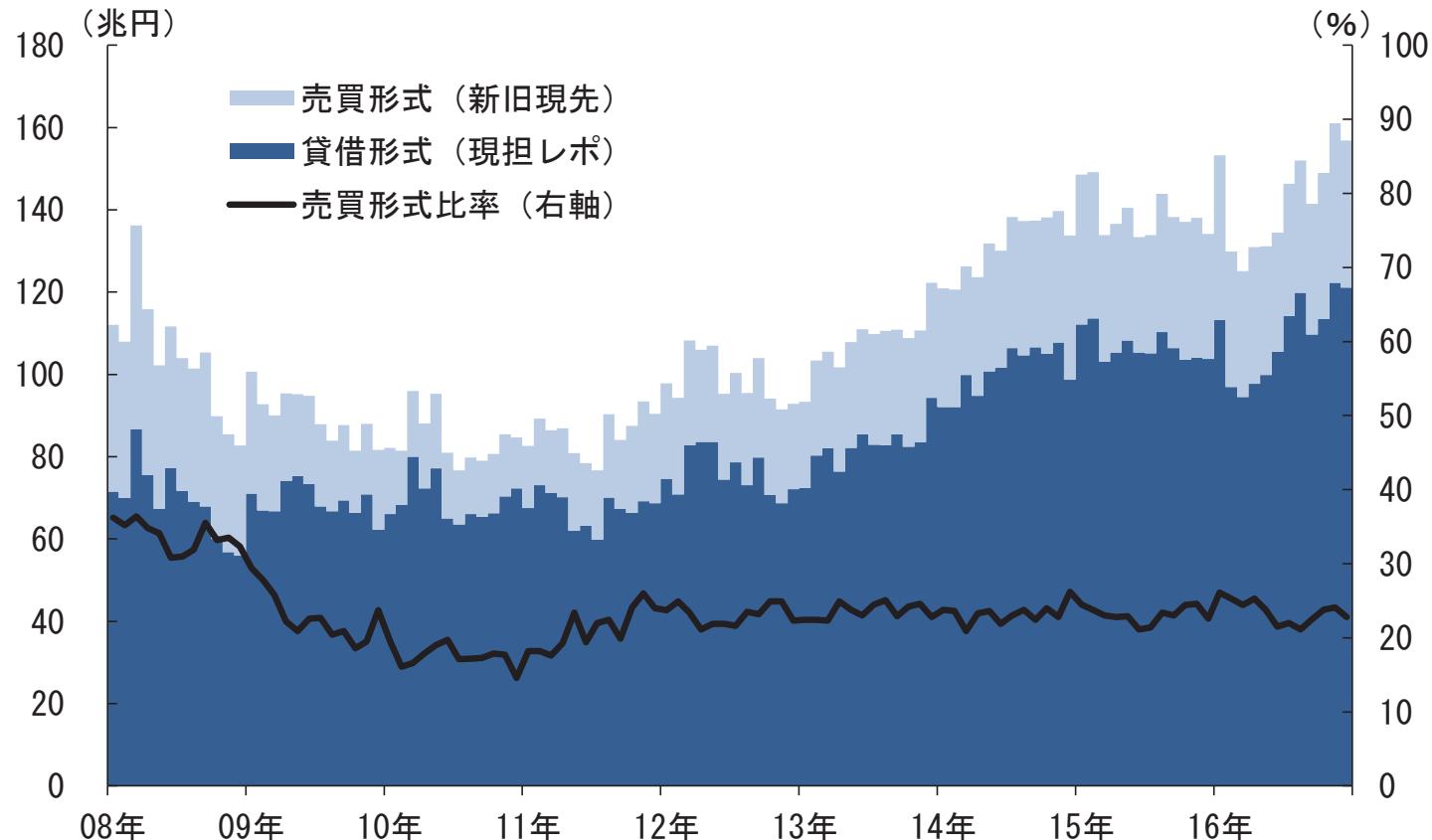
(債券レポ市場の取引残高)



(注) 何れも資金調達サイド。レポ取引は債券の現先取引・現担レポの合計。各年の7月末時点。

(出所) 日本銀行

# (参考) 債券レポ市場の足もとの動向



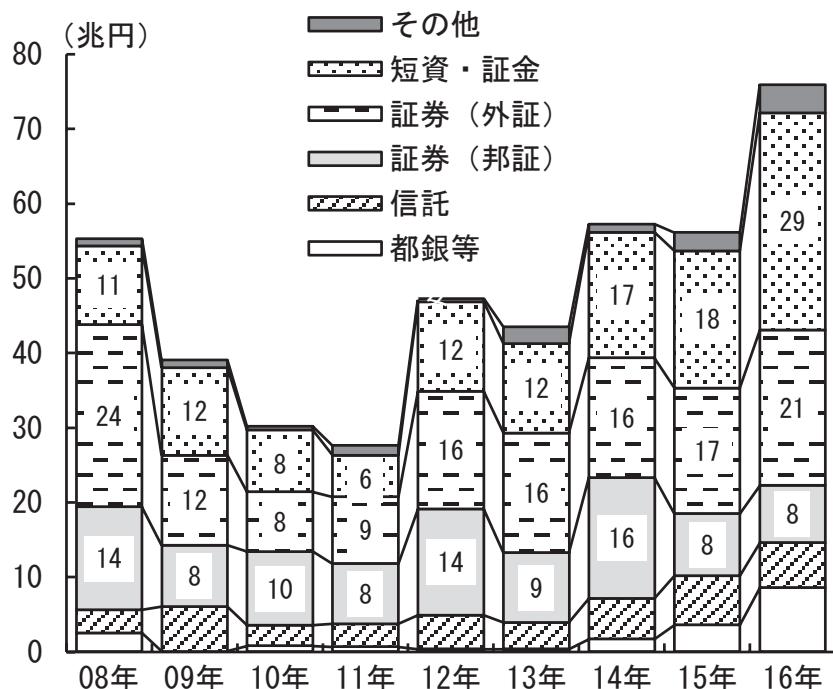
(注)資金調達サイド。月次ベース。

(出所)日本証券業協会

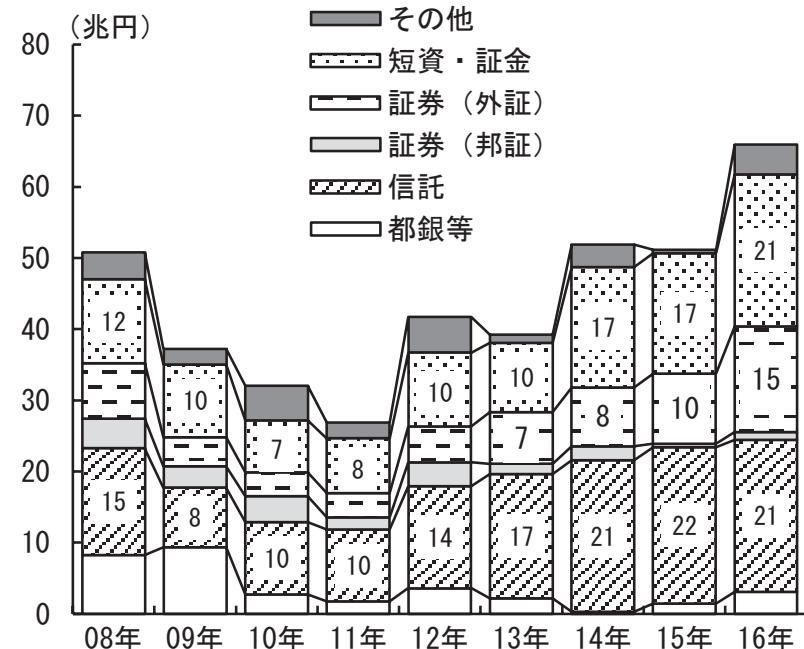
## 2. 債券レポ市場の動向①

### (1) GCレポ市場の取引残高

(資金調達サイド)



(資金運用サイド)

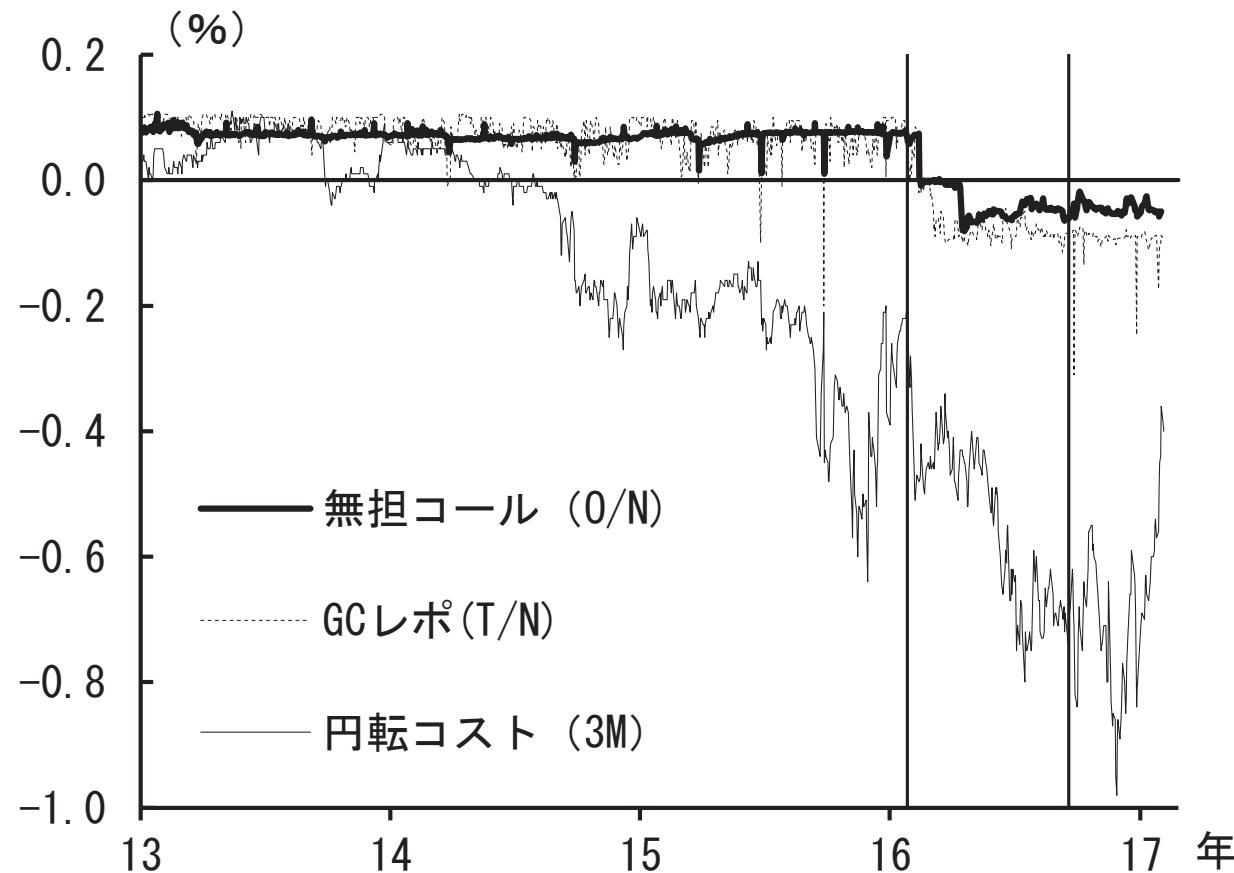


(注) レポ取引は債券の現先取引・現担レポの合計。各年の7月末時点。

(出所) 日本銀行

## 2. 債券レポ市場の動向②

### (2) GCレポレート

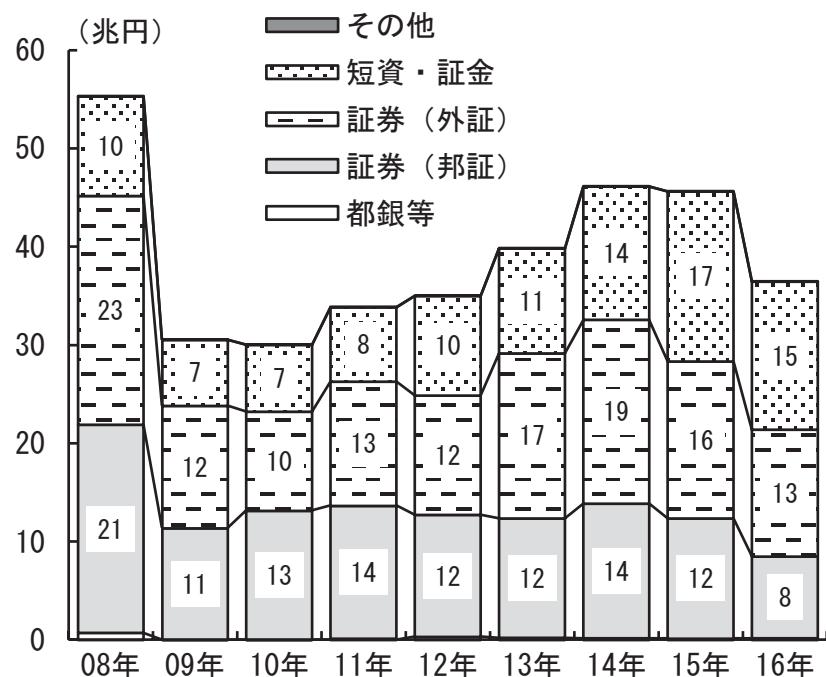


(出所) Bloomberg

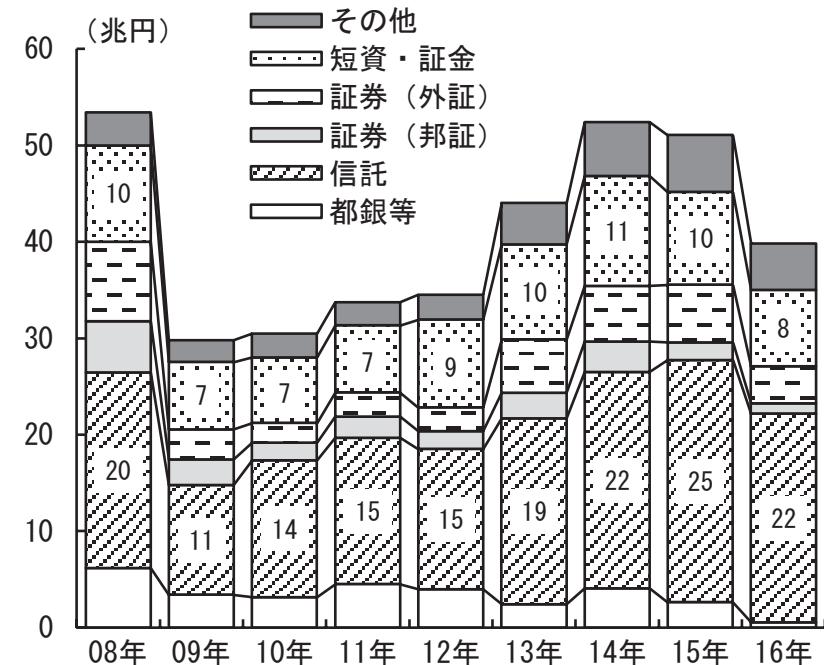
## 2. 債券レポ市場の動向③

### (3) SCレポ市場の取引残高

(債券調達サイド)



(債券運用サイド)



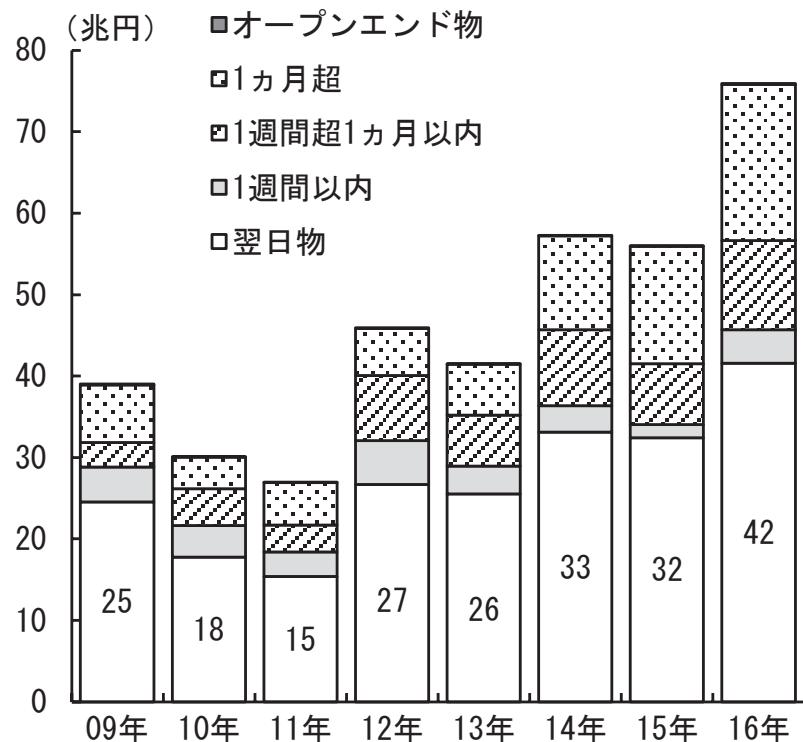
(注) レポ取引は債券の現先取引・現担レポの合計。各年の7月末時点。

(出所) 日本銀行

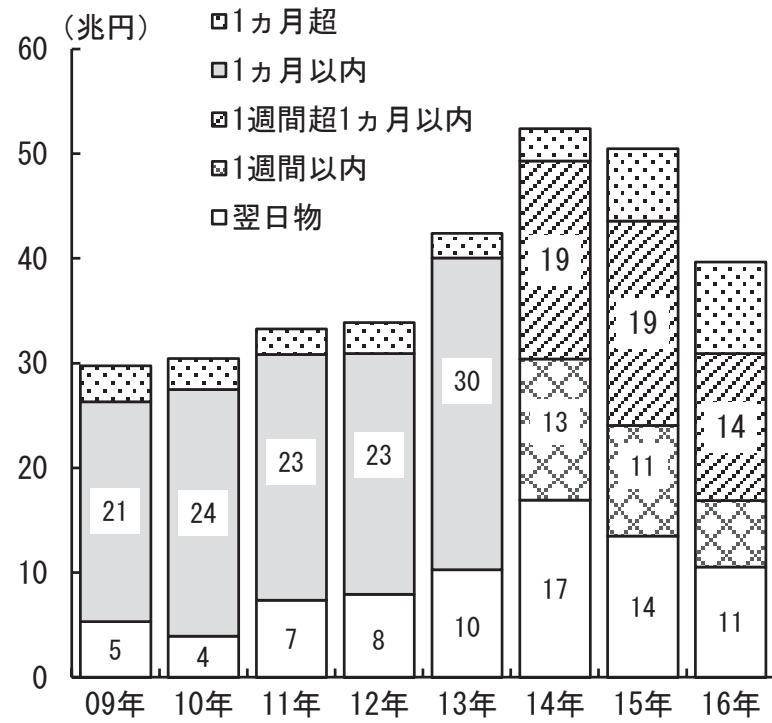
## 2. 債券レポ市場の動向④

### (4) レポ市場のターム別取引残高

(GCレポ取引)



(SCレポ取引)



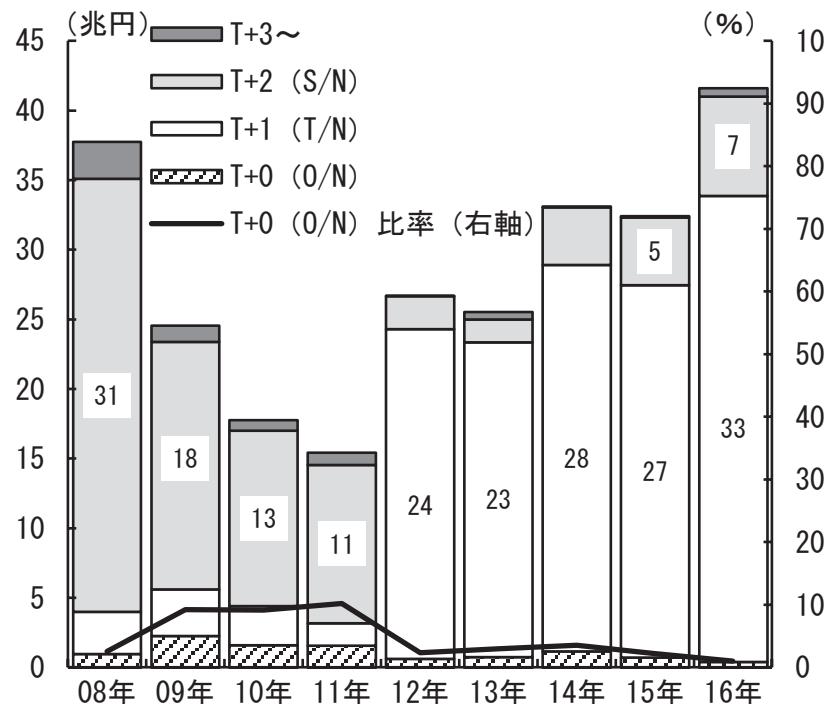
（注）レポ取引は債券の現先取引・現担レポの合計。資金調達サイド。各年の7月末時点。

（出所）日本銀行

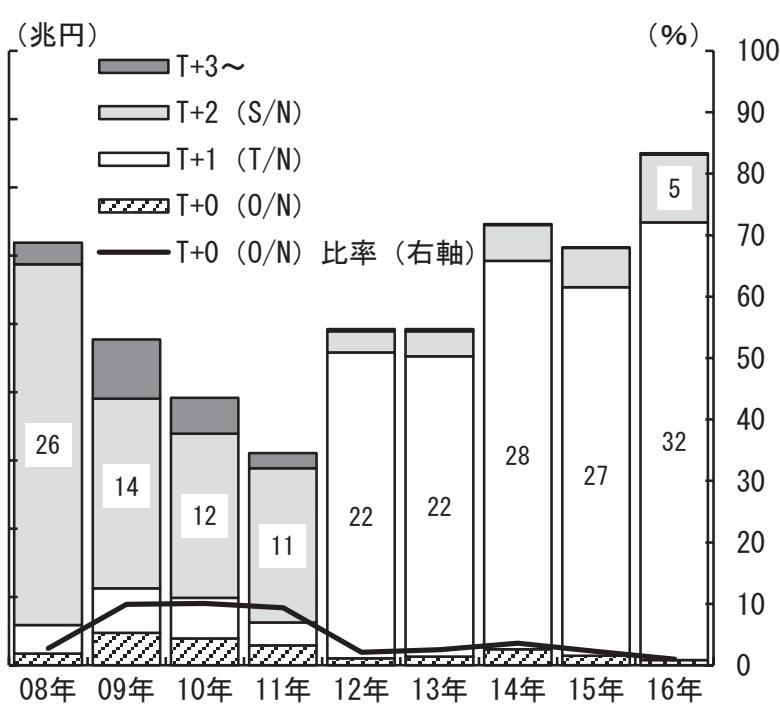
## 2. 債券レポ市場の動向⑤

### (5) 翌日物GCレポ取引の約定日別残高

(資金調達サイド)



(資金運用サイド)

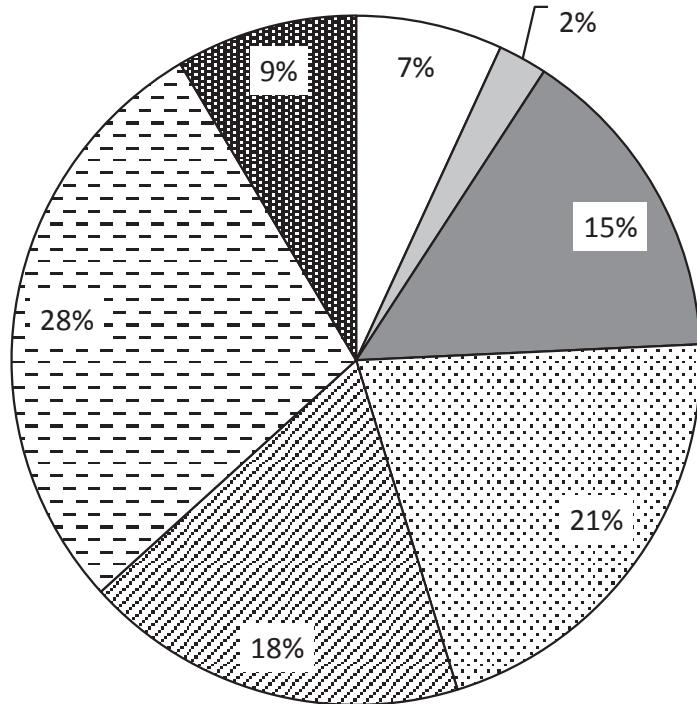


(注) レポ取引は債券の現先取引・現担レポの合計。各年の7月末時点。

(出所) 日本銀行

### 3. 債券レポ市場を巡るトピックス①

#### (1) 国債決済期間短縮化への取り組み状況



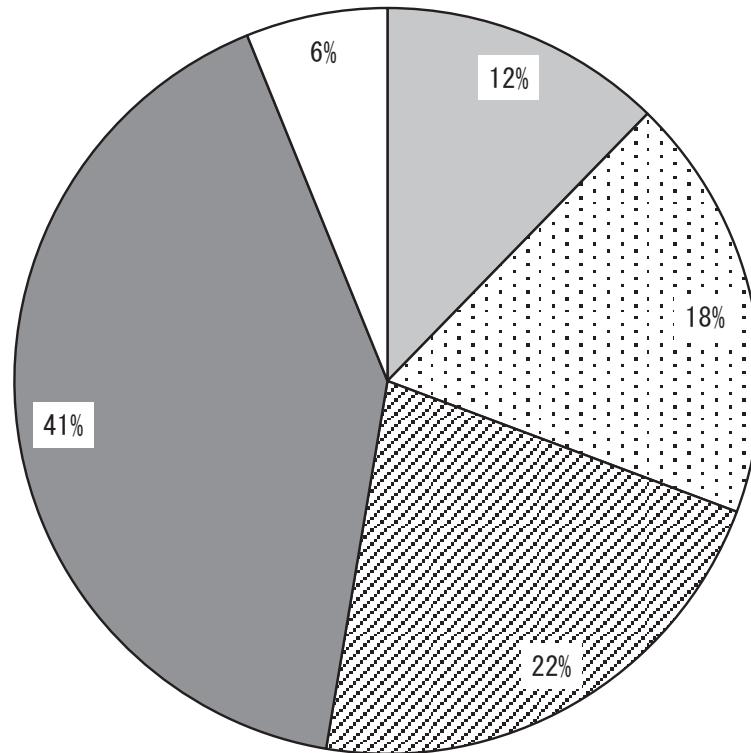
- システム開発・調達に着手している
- システム開発に必要な予算を確保した
- 業務フロー・体制、システム予算等について、具体的検討を開始している
- 既存のシステム・体制等で対応可能
- 共同センター・系統中央機関にて対応
- 引き続き情報収集段階
- その他

(注) 14年11月にT+1化に向けたグランドデザイン（GD）が公表され、18年上期の実施を目指して市場インフラ及び市場参加者による対応が進められている中、東京短期金融市場サーベイの調査先において、どの程度短縮化への取り組みが進められているかを調査したもの。

(出所) 日本銀行

### 3. 債券レポ市場を巡るトピックス②

#### (2) 新現先への移行に向けた取り組み状況



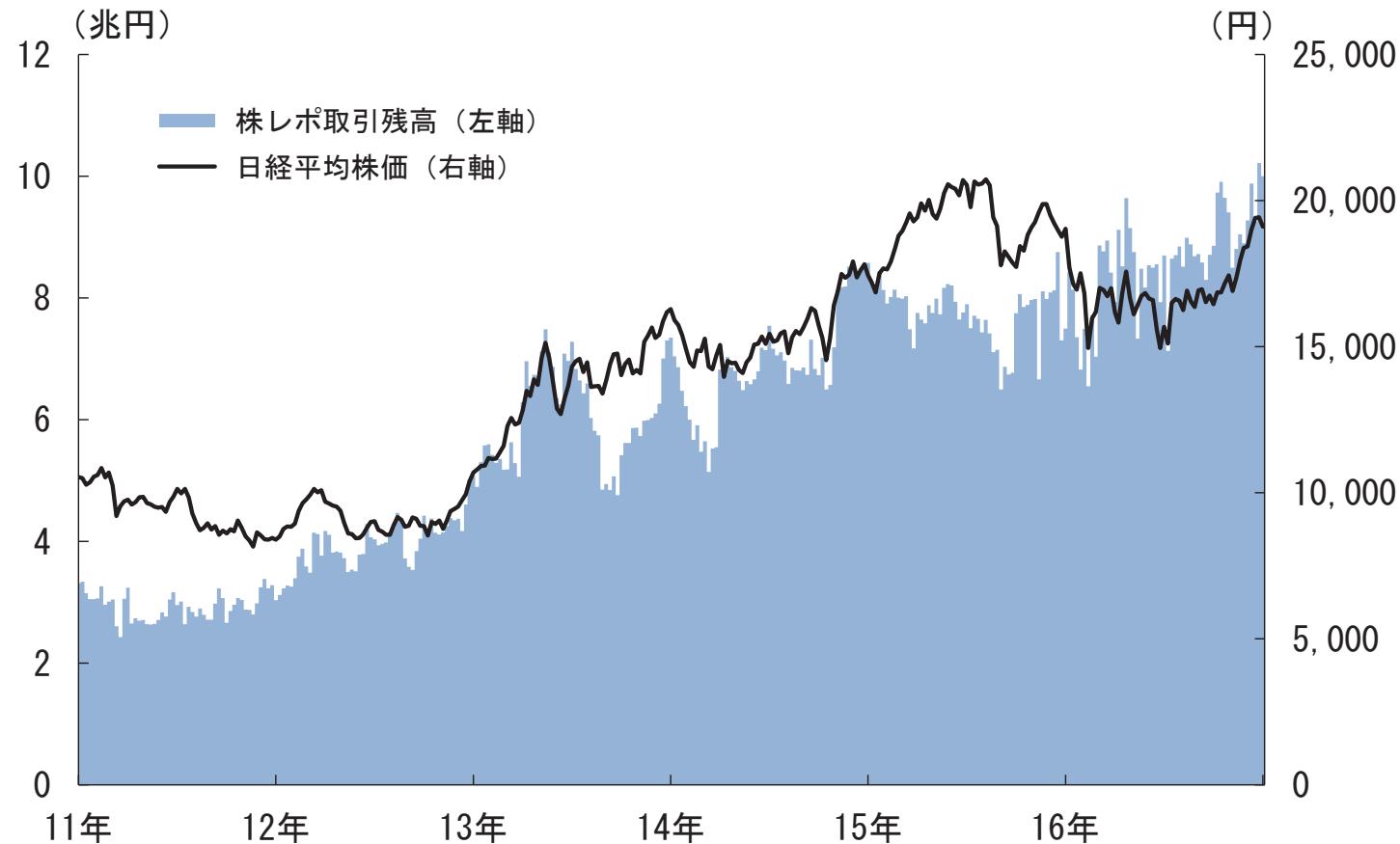
- 既に新現先取引のための体制  
(事務・システム)を構築済み
- 現在、新現先取引のための体制  
(事務・システム)を構築中
- 現在、新現先取引のための体制  
(事務・システム)の構築を検討中
- 引き続き情報収集段階
- その他

(注) グランドデザイン（GD）やその後の市場参加者間の検討において、レポ取引の契約形態を新現先へ移行する方針が打ち出されている中、東京短期金融市場サーベイの調査先においてどの程度新現先への対応が進められているかを調査したもの。なお、回答対象は、東京短期金融市場サーベイでレポ取引の約定を行っていることが確認された114先。

(出所) 日本銀行

## 4. 株レポ市場の動向①

### (1) 株レポ市場の取引残高



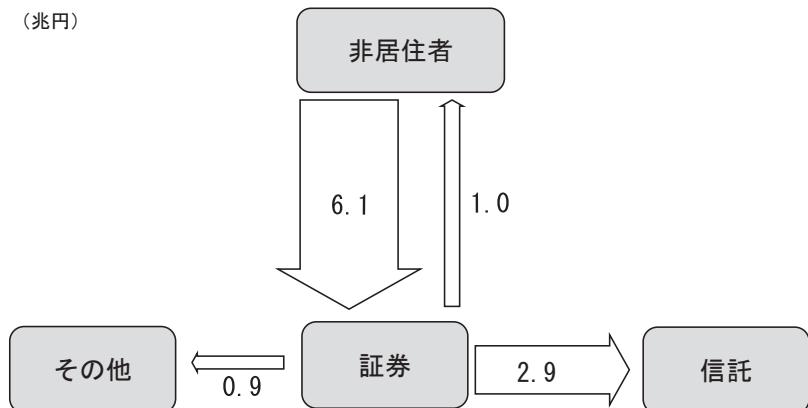
(注) 上場銘柄の有担保取引。資金調達サイド。

(出所) 日本証券業協会、Bloomberg

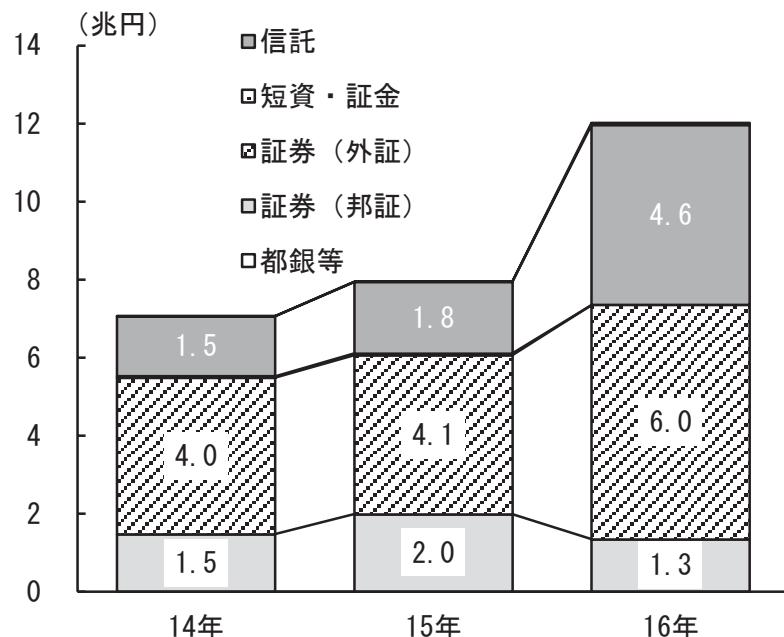
# 4. 株レポ市場の動向②

## (2) 株レポ市場の取引構造

(資金フロー)



(業種別残高)



(注)2016年7月末時点。主要な取引を表示。

矢印は資金の流れ(株式の流れは逆)。

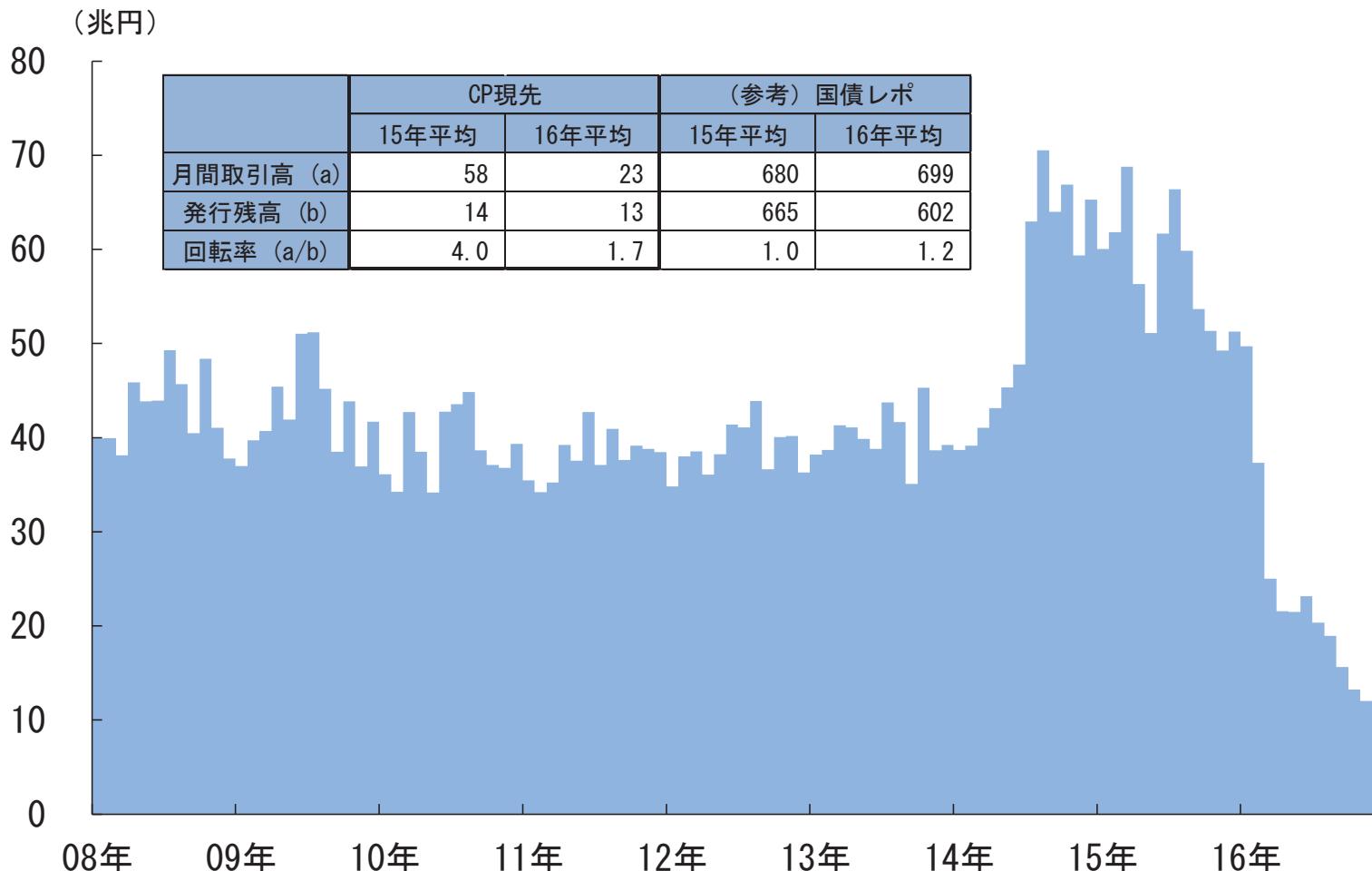
(出所)日本銀行

(注)各年7月末時点。資金調達サイド。

制度信用取引、一般信用取引、無担保の  
株券貸借取引は含まれない。

(出所)日本銀行

## 5. CP現先市場の取引高



(注) 取引高は資金調達サイド。

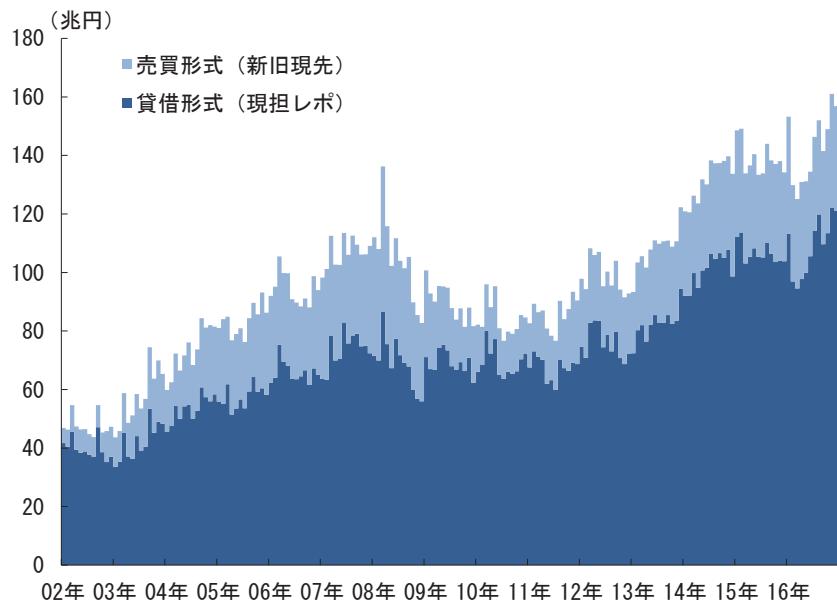
CP現先：取引高は流通時におけるCP現先の月中取引高、ABCPを除く。発行残高は月末残高の平均。

国債レポ：月間取引高は現担レポのみ。発行残高は各年12月末（日銀保有分除く）。

(出所) 日本証券業協会、証券保管振替機構、日本銀行

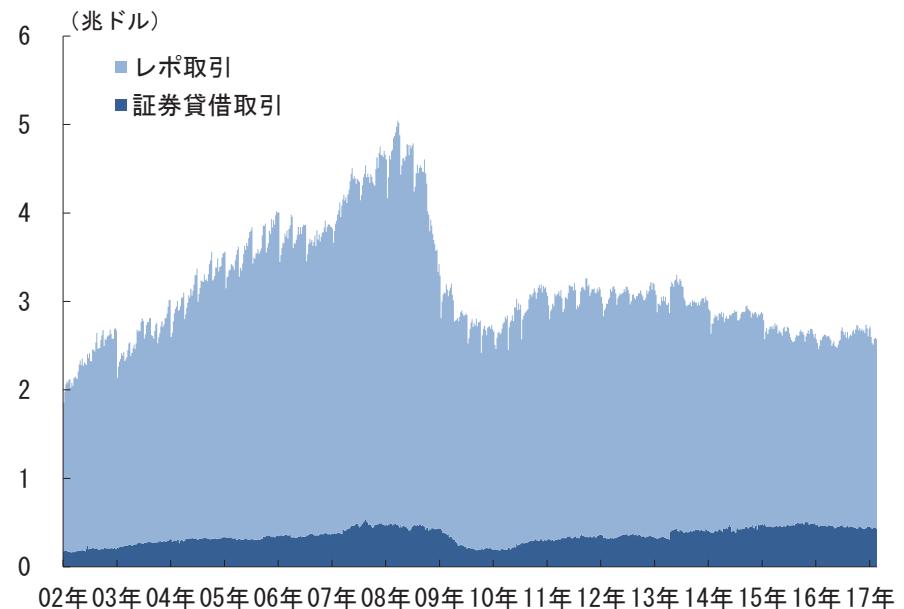
# 6. レポ市場における取引残高

(日本)



(注)資金調達サイド。債券の現先取引および現担レポ取引。  
(出所)日本証券業協会

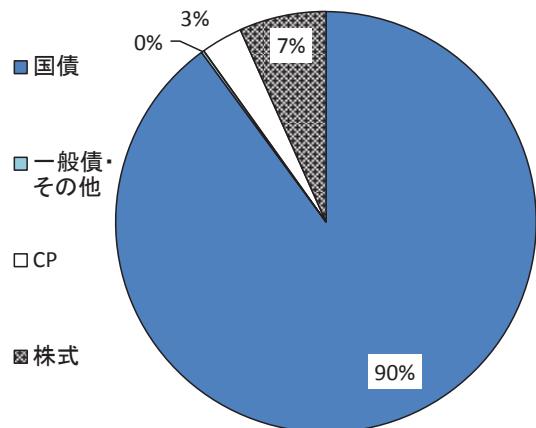
(米国)



(注) 資金調達サイド。プライマリー・ディーラーを経由した取引のみ。2013年3月までの担保は債券のみ、2013年4月以降の担保は債券に加え、株式等を含む。2002年12月以降はFRBのリバースレポ分を除く。  
(出所) Federal Reserve Bank of New York

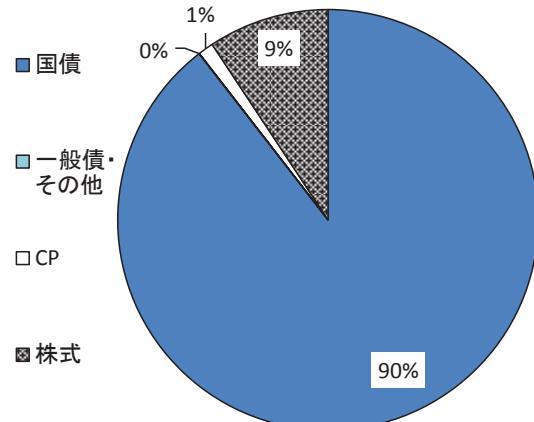
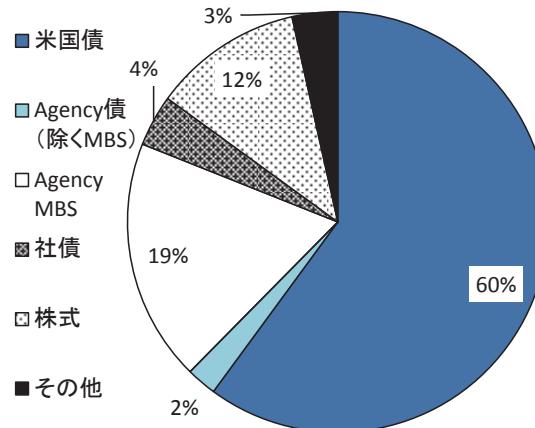
## 7. 担保証券別残高シェア

(日本)

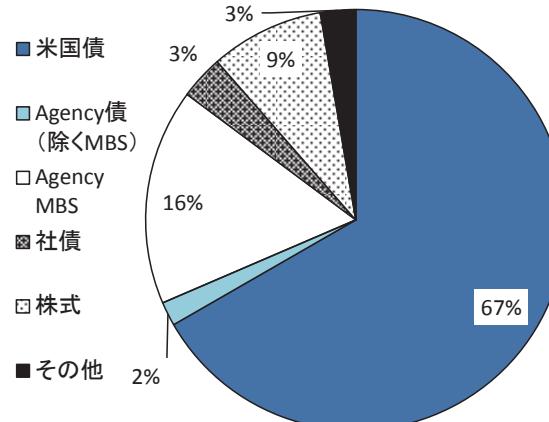


2015年

(米国)



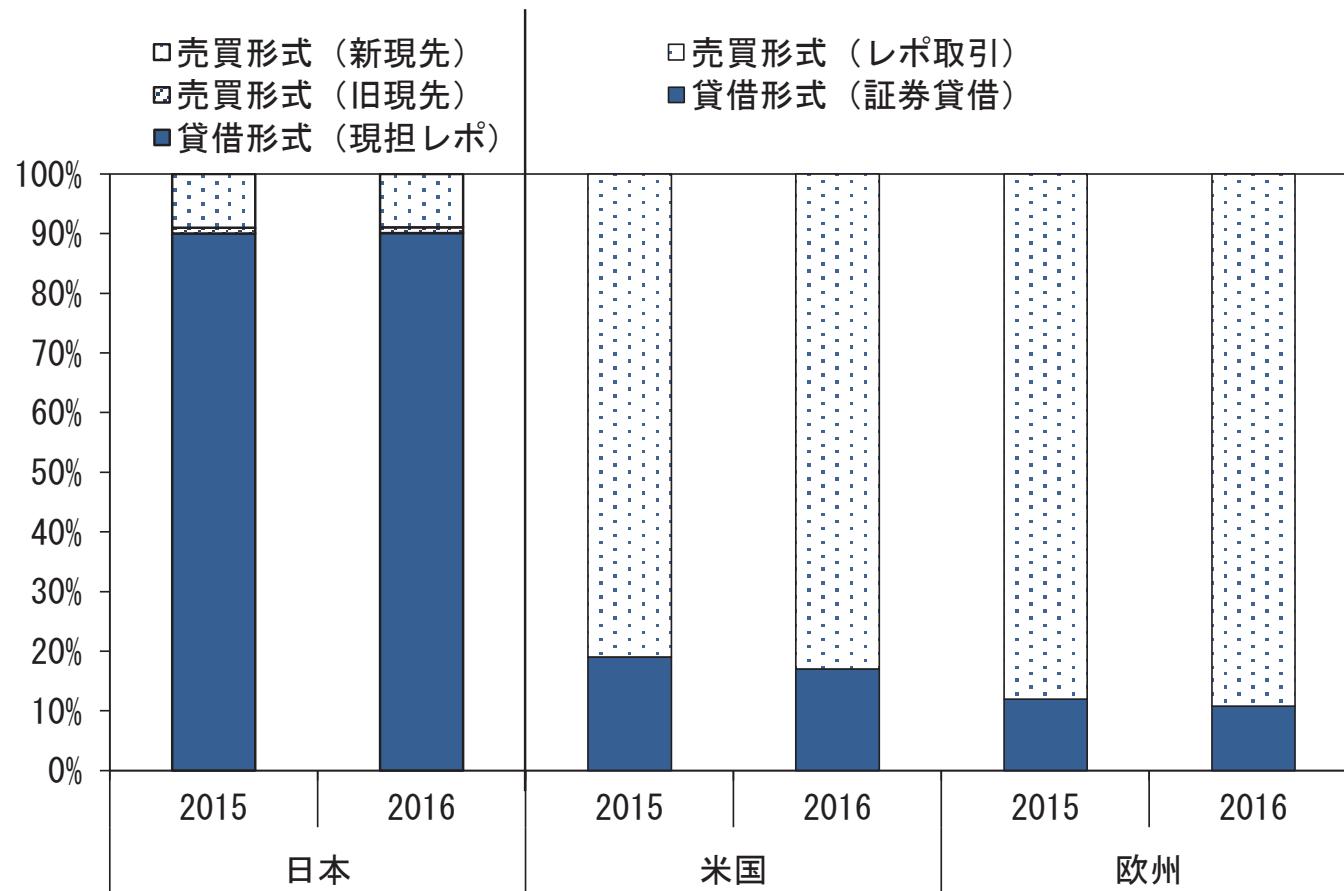
2016年



(注) 日米ともに資金調達サイド、各年7月末時点。米国分は、プライマリー・ディーラーを経由した取引のみ。

(出所) 日本銀行、Federal Reserve Bank of New York

## 8. 契約形態別残高シェア



(注) 日米は各年7月末、欧州は各年6月末。日本については債券の現先取引・現担レポ。米国分は、  
プライマリー・ディーラーを経由した取引のみ

(出所) 日本銀行、Federal Reserve Bank of New York、International Capital Market Association

# (参考) レポ市場の国際比較

	日本	米国	欧州
取引残高	157兆円 <約1.3兆ドル> (2016年12月)	2.5兆ドル (2016年12月)	2.6兆ユーロ <約2.7兆ドル> (2016年6月)
主要な担保	国債、株式、CP	国債、MBS、株式、社債	国債、社債、株式
主要な参加者	証券会社、信託銀行、 短資会社	プライマリー・ディーラー、MMF、 銀行、GSEs	銀行、証券会社
ヘアカットの有無	ほとんど無	有	有

(注) 日本は債券の現先取引・現担レポの合計。米国はプライマリー・ディーラーを経由した債券および株式等のレポ取引・証券貸借の合計。欧州はレポ取引のみ（証券貸借は含まない）。

(出所) 日本銀行、日本証券業協会、Federal Reserve Bank of New York、International Capital Market Association、Bank for International Settlement